

FAX : 098-885-3542

(担当：長嶺卓弥)

〆切 10月22日(木)

ボウリング大会 申込用紙

分会名 () 代表者 ()

ペア 通番	名前	性別	名前	性別	同レーン 希望
1	(かな)	男・女 子ども	(かな)	男・女 子ども	
2	(かな)	男・女 子ども	(かな)	男・女 子ども	
3	(かな)	男・女 子ども	(かな)	男・女 子ども	
4	(かな)	男・女 子ども	(かな)	男・女 子ども	
5	(かな)	男・女 子ども	(かな)	男・女 子ども	
6	(かな)	男・女 子ども	(かな)	男・女 子ども	

※枠が足りない場合はコピーしてお使いください

記入上の注意点

- ① 2人ペアで申し込んでください。他分会のペアとチームを組む予定です。
- ② 参加者がお子さんの場合、性別欄の「子ども」にも○をしてください。
(参加料が500円になります)
- ③ お子さんと保護者が同じレーンでプレーしたい場合など、同じレーンに固め欲しい(=レーンをばらさないで欲しい) ペアがあれば、「同レーン希望」欄に、同じ数字を記入してください。(裏面の記入例を参考にしてください。)

記入例

同レーン希望欄に同じ数字が記載されているこの2ペア4名は
同じレーンになるよう配慮します。

ペア 通番	名前	性別	名前	同レーン 希望
1	(かな) おきなわ たろう	男・女	(かな) おきなわ なお	1
	神縄 太郎	子ども	神縄 長男	
2	(かな) おきなわ つぐお	男・女	(かな) おきなわ みつお	1
	神縄 次男	子ども	神縄 三男	
3	(かな) なかがみ はなこ	男・女	(かな) しまじり かめきち	1
	中頭 花子	子ども	島尻 亀吉	
4	(かな) くのがみ つる	男・女	(かな) くのがみ ちょうじょ	2
	国頭 ツル	子ども	国頭 長女	
5	(かな) くのがみ じじょ	男・女	(かな) ちゃたん カメ	2
	国頭 次女	子ども	北谷 カメ	
6	(かな)	男・女	(かな)	1
		子ども		

お子さんには確実に○をつけてください。

同レーン希望欄に同じ数字が記載されてい
るこの2ペア4名は同じレーンになるよう配
慮します。

参加申込み書

高教組・女性部共催 ジェンダー学習会

演題「思春期の性を語ろう」

～親のホンネ・子のホンネ こんな時どうする？～

日時：12月4日(金) 18:00～20:00

会場：教育福祉会館3F ていだ・サバニホール

*どなたでもお気軽にご参加下さい。問合せ先：高教組(887-1661) 担当：稲福

分会名() 報告者()

	名前	備考
1		
2		
3		
4		
5		

FAX：885-3542

送信票不要

教育改革全国キャンペーン中央集会 2020 への参加募集

日本教職員組合中央執行委員長 清水 秀行

連日のとりくみに敬意を表します。

日教組は、子どもの権利条約が国連で採択された 11 月を、教育改革全国キャンペーン月間としてしています。

新型コロナウイルス感染症に伴う外出「自粛」要請によるストレス、「自粛」期間中の虐待の増加（厚労省調べ）、経済格差の拡大など、子どもたちをとりまく状況はより厳しくなっています。長期間にわたる学校休業で、「学校」の意義が見直されたものの、再開後の学校は感染対策や授業時間確保に追われています。子どもを中心にすえた教育改革について、保護者、地域住民と教育課題を共有し社会的対話がすすむよう、単組におけるとりくみをお願いします。

今年度の教育改革全国キャンペーン中央集会は、「子どもや地域にとって学校とはどういう存在か」をテーマに、毎日メディアカフェと連携した教育シンポジウムとして開催し、子どもたちの声を聴きながら、参加者と課題を共有したいと考えています。つきましては、標記集会への参加を下記の通り指示します。

記

1. 名称 学校って何？～新型コロナウイルス感染症からみえてきたもの～（仮題）
2. 主催 毎日メディアカフェ
3. 協力 日本教職員組合ほか
4. 日時 2020 年 11 月 21 日（土） 13:00～15:00
5. 形態 YouTubeLIVE にて限定配信
※チャット機能を利用し、リアルタイムで質問を受け付ける参加型配信。
但し、時間の都合上質問全てが取り扱われるわけではありません。
※録画映像を編集し、毎日メディアカフェ YouTube チャンネルに後日掲載予定。

6. 内容（予定）

13:00	開 会
第一部	子どもたちのリレートーク（約 50 分） 中高生 5 人が「学校とは何か？」「学校に求めるもの」等をテーマにリレートーク
第二部	パネルディスカッション（約 70 分） ファシリテーター：斗ヶ沢秀俊さん（毎日新聞） パネリスト：リレートーク登壇者・教職員・子ども支援 NPO 法人など
15:00	閉 会

7. 参加について

- (1) 参加者：(a) 各単組 1 人 (b) 青年層 1 人（青年層参加枠）
* 日教組第 3 次女性参画推進行動計画にもとづき、積極的な女性の参加をお願いします。
- (2) 参加申込方法：
11 月 5 日（木）までに以下の宛先までメールにてご報告ください。

高教組 MAIL. okihtu@oki-htu.or.jp

11 月 19 日（木）頃、YouTubeLive 閲覧用招待 URL を送信致します。

・シンポジウム終了後、簡単なアンケートを実施致します。

詳細については上記閲覧用招待 URL 送信メールに添付致しますので集会終了後、速やかに提出ください。

【連絡先】高教組 887-1661 教文担当 稲福

2020年度「公務・公共部門労働者の生活実態に関する調査」の実施について（依頼）

各分会の皆様におかれましては、連日のとりくみに対し敬意を表します。

さて、公務労協（公務公共サービス労働組合協議会）より、「公務・公共部門労働者の生活実態に関する調査」について依頼があります。

日教組においても、本調査は、20年度春闘要求や今後の運動をすすめるにあたり、重要な資料となりますので、御協力をよろしくお願い致します。

1. 調査の目的

今後の賃金労働条件改善や当面する重点課題に関わるとりくみの基礎資料を得ること

2. 調査期間

10月9日（金）～10月30日（金）

3. 調査方法

今年度は、Webアンケートのみ

（パソコン・タブレット・スマートフォンより：公務PCは使用しないでください）

回答方法について

以下のQRコードまたはURLからWebサイトにアクセスしていただき、回答をお願いします。（所要時間7～8分）



<https://www.komu-rokyo.jp/qa/2020/jtu.html>

※ 締め切りまで短期間となりますが、公務労協における集計・分析の関係上、締切日厳守をお願い致します。

4. 調査にあたってのお願い

今年度は、御協力いただける全ての組合員を対象

- (1) アンケート回答者の選定にあたっては、都市部・それ以外をできるだけ均等にし、組合員の年齢・性別などの構成が著しく偏らないようお願い致します。
- (2) 全員職員を対象として調査を実施し、できる限り複数職種（2種以上）の回答をお願いします。

例) 教諭 … 2名 現業職員 … 1名

(3) 記入上の注意

①基本項目「A1 ブロック(10.九州・沖縄)」に☑を入れ、「A2 (14.沖縄高教組)」に☑に必ず選択してください。

②「Q2 職種・職場」の記入については、以下のように選択すること。

「事務職員」・・・「2.一般事務(専門行政職、税務職を含む)・その他」

「現業職員」・・・「3.行(二)職・地方自治体等の現業職」

「栄養職員」・・・「9.医療職」

「教育職給料表適用者」・・・すべて「6.教育職」

【問合せ先】
高教組 担当 松田

TEL 098-887-1661
FAX 098-885-3542

4. 分会でのとりくみ

ア) 分会は、10月～11月中に労働安全衛生週間を設定し、分会会議を開催する。

その際には、職場討議資料（日教組教育新聞）等を活用し、「上限規制」と勤務時間の適正な把握を通して働き方改革や職場の労働安全衛生について考える。

<分会会議の視点>

- ・勤務時間の把握について
- ・休憩時間の確保について
- ・労働安全衛生委員会等の開催について
- ・36協定の遵守と実際に時間外勤務をした分の時間外勤務手当が支給について

イ) 分会会議で課題等が明らかになった場合には校長交渉にとりくむ

※新型コロナウイルス感染症予防対策と働き方改革についても考える機会とする。

<考える視点について>

- ・教職員の負担軽減策について
- ・今後の感染症対策のために必要な予算について

【第6回評議員会で依頼済み】

学校現場の働き方改革に関する意識調査 (Web調査) について



1. アンケートについて

(1) インターネット・スマートフォンでの回答

*設問は17問で回答所要時間は15分程度です。

*個人名・学校名が特定されることはありません。

*調査は労働調査協議会に業務委託しています。

<https://labour-research.org/limesurvey2/index.php/638692?lang=ja>

(2) 各県100件以上の回答を求められています。

対象は全組合員とし、未加入者にも積極的に協力を依頼してください。

2. 期 日 9月11日(金)～10月12日(月)

3. その他 ・結果については11月中旬を目途に公表されます。

<担当> 沖縄県高教組 法制・調査担当：酒井 利昌

TEL：098-887-1661

FAX：098-885-3542

E-mail：housei@oki-htu.or.jp

組合未加入者も含め多くの職員に、
特に36協定が適用される
事務職員等へも積極的に声かけをお願いします。

2020年9月29日 教発285整理369	連絡	労働局 超勤・多忙化解消	連合「2020ディーセント・ワーク世界 行動デー」のとりくみについて
--------------------------	----	-----------------	---------------------------------------

各単位組合委員長 様

日本教職員組合中央執行委員長 清水 秀行

連日の各単組のとりくみに敬意を表します。

さて、国際労働組合総連合（ITUC）は、公正で持続可能な社会の実現にむけたとりくみの一環として、2008年より「ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）世界行動デー（10月7日）」世界一斉行動の実施を呼びかけています。

これまで連合は、この呼びかけに応じ、国際産業別労働組織（GUFs）と連携し、すべての人に「ディーセント・ワーク」が保障される社会の実現を訴えるとりくみを全国で実施してきました。

2020年春ごろから問題が深刻化している新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークなどの新しい働き方で仕事に従事する人々が増えてきていますが、自宅勤務によるストレスや、労働時間管理など新たな課題を抱えている人も増えています。また、学校現場でも、日常業務に加えての消毒作業や感染予防対策などの新たな業務の追加により、勤務環境は厳しいものとなっています。

日教組は連合の要請にもとづき、連合「2020ディーセント・ワーク世界行動デー」のとりくみに協力します。つきましては、下記の通り連絡します。

記

5分05秒です

1. 連合からのとりくみ要請

1

- ① 連合ホームページ内「ディーセント・ワークの実現」コーナーの動画を視聴する。
② 連合ホームページ・SNSを活用して、「自宅と職場でディーセント・ワークについてつぶやこう！」に投稿する。

2. 対象 できるだけ多くの組合員に周知し、その家族、友人にも拡散を依頼。

3. とりくみ方法

- ① 日教組ホームページに掲載の「2020ディーセント・ワーク・世界行動デー」バナーをクリックし、連合ホームページ内「ディーセント・ワークの実現」コーナーの動画を視聴する。

※下記のURLからも入れます。

URL:<https://www.ituc-rengo.or.jp/activity/kokusai/decentwork/>

※※ 添付したチラシの連合ホームページQRコードからも入れます。

2

- ② ①で入った連合ホームページ・SNSを活用して、「自宅と職場でディーセント・ワークについてつぶやこう！」から、新型コロナウイルス感染症の流行の中で自宅や最前線で働く人々の率直な意見や感想、また不満などを連合本部Facebookおよび、ツイッターに「#WDDW」をつけて投稿する。

・添付したチラシ等も活用し、組合員からご家族、友人にも本キャンペーン内容を拡散し、より多くの人々に参加を呼びかける。

4. とりくみ期間 10月7日（水）～10月31日（土）

<担当>沖縄県高教組 法制・調査担当：酒井 利昌

TEL：098-887-1661 FAX：098-885-3542 E-mail：housei@ki-htu.or.jp

～障害のある教職員ネットワーク WEB アンケートを実施中です！～

障害のある教職員ネットワークは、WEB アンケートを実施しています。このアンケート結果は、障害のある教職員が働きやすい学校現場を実現するため、活用させていただきます。

また、集計結果は、障教ネット通信で皆さまにお伝えいたします。
アンケートへのご協力をお願いいたします。

締切 11月18日（水）



<https://form.kintoneapp.com/public/form/show/efe4c09396b793dfa860ff7fa812bd9dc47e30ec7962784404f2ce7315a7c7c8>

日教組障害のある教職員ネットワーク

連合「アンコンシャス・バイアス診断（アンケート）」への協力について

各単位組合委員長 様

日本教職員組合中央執行委員長 清水 秀行

連日のとりくみに敬意を表します。

連合より、連合アクション「気づこう、アンコンシャス・バイアス～真の多様性ある職場を～」のとりくみとして、アンコンシャス・バイアス診断（アンケート）への協力依頼がありました。

このとりくみは、性別・年齢・国籍・障害・就労形態等にかかわらず、だれもが多様性を認め合い、互いに支え合うことのできる職場・社会の実現をめざし、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込みや偏見）診断によって、まずは自分自身が「気づく」というものです。

つきましては、お忙しいところ申し訳ありませんが、ご協力いただきますようお願いいたします。

記

1. 調査の目的

性別・年齢・国籍・障害・就労形態等にかかわらず、だれもが多様性を認め合い、互いに支え合うことのできる職場・社会の実現をめざし、「アンコンシャス・バイアス診断（アンケート）」という手法を切り口に、「真の多様性」について、まずは自分自身が「気づく」とりくみを展開する

2. 調査時期 2020年9月14日（月）～10月30日（金）

3. 調査対象 (1) 単組・支部役員 (2) 組合員

4. 実施方法 Google アンケートにて回答（設問 20 問…①②共通）

※下記 URL から回答フォームに入ってください。組合員用には次ページの別紙資料の QR コードを利用できます。

(1) 単組・支部役員用

・回答フォーム URL : <https://forms.gle/YWYfLFF1SruGMo9v6>

(※QR コードはありません)

(2) 組合員用

・回答フォーム URL : <https://www.jtuc-rengo.or.jp/action/diversity/>

1～2 分程度で入力可
ご協力お願いいたします。



6. 結果公表 回答結果を集約・分析しプレスリリースにて発信。連合 HP、SNS にて公表。

__以上

2021年度 ※紙データとエクセルデータの両方を提出してください。

人事重点要求 _____ 支部

名前・年齢		年齢	2021年3月31日現在 歳
学校名			
職種・教科		教科	
現任教勤務年数	年	現地区勤務年数	年
現住所		携帯電話	
生活根拠地			
通勤方法			

希望順位	現地区() 他地区() 離島・北部() 他校種等() 計画交流() 留任()		
転出希望先	区分	第1希望校	第2希望校
	現地区		
	他地区		
	離島・北部		
	他校種等		
	計画交流		
事情の説明			
該当する重点の基準	① ② ③ ④ ⑤	添付資料①あり ②なし	